

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2019-5857(P2019-5857A)

【公開日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-002

【出願番号】特願2017-124214(P2017-124214)

【国際特許分類】

B 2 4 B	45/00	(2006.01)
B 2 6 D	1/14	(2006.01)
B 2 6 D	7/26	(2006.01)
B 2 4 B	27/06	(2006.01)
H 0 1 L	21/301	(2006.01)

【F I】

B 2 4 B	45/00	A
B 2 6 D	1/14	A
B 2 6 D	7/26	
B 2 4 B	27/06	M
H 0 1 L	21/78	F

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月8日(2019.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

スリーブ15の近位側には、吸着ユニット2とアーム部3とを連結可能なように構成されている連結部11が取り付けられている。連結部11は、連結部11の遠位側の突出部11aがスリーブ15の近位側の中空に嵌め込まれることによって、スリーブ15に取り付けられている。連結部11は、鉤状部近位面5cと向かい合う連結部内側近位面11bと、突出部近位面4bに向かい合う連結部外側近位面11cとを備えている。連結部外側近位面11cは、連結部内側近位面11bよりも近位かつ外側に位置している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

回転部近位面6bと近位側張出部遠位面9aとの間で回転駆動部材9の周囲を取り囲むように第1バネ16が位置している。第1バネ16は、回転部近位面6bと近位側張出部遠位面9aとの間の距離が変化することによって伸縮可能である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

次に、図8の模式的断面図に示すように、吸着ユニット2をさらに遠位側（スピンドル21側）に移動させるように、アーム部3を遠位側（スピンドル21側）に移動させる。このとき、ブレード22によって第1吸着部4は遠位側（スピンドル21側）から近位側（アーム部3側）に力を受けるが、第3バネ7が突出部近位面4bに接触して縮むため、第1吸着部4の移動は抑制され、ブレード22に対する過度の荷重が抑制される。そして、第1吸着部4の移動が抑制された状態で第2吸着部5が遠位側（スピンドル21側）に移動し、第2吸着部5の遠位側の第2吸着部遠位面5dが遠位側フランジ23と接触する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図25

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図25】

【図25】

図25

